

名古屋造形大学の活動／2025年6月～2026年5月

各種受賞（一部抜粋）

※一部、他資料と内容が重複している資料が含まれております

<学生>

◆「デジタルアニメーションフェスティバル NAGOYA2026」にて優秀賞を受賞

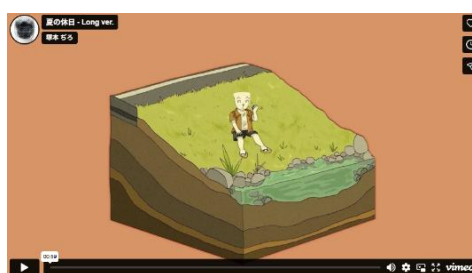
ナゴヤから、新たなアニメーションカルチャーが誕生する。

デジタルコンテンツ、ソフトウェア産業推進活動及び、メディア芸術の振興を行い、クリエイティブ分野の文化・産業両面での発展を図る。

情報表現領域・2年生

塚本真央さん

作品名「夏の休日 - Long ver.」



◆「第81回春の院展」に入選

春の訪れを告げる日本画の祭典。

350点を超える作品が魅せる、国内最大規模の日本画の公募展。

美術表現領域・4年

岡崎有紗さん

作品名「樹影」



◆「デザインパテントコンテスト」にて特許庁長官賞など複数受賞

パテントコンテスト及びデザインパテントコンテストは、日本の次世代を担う若い高校生、高等専門学校生、大学生、専修学校生及び大学校生が、自ら考え出した発明又はデザイン（意匠）について応募し、優秀作品については、優秀賞（出願支援対象）として、実際に特許庁への出願を支援することで、特許権又は意匠権の取得までの手続を実体験するコンテスト。

空間作法領域・3年 石田千織さん 鈴木歩美さん 作品名「プルペタ」 ※特許出願中



石田千織・鈴木歩美

簡単に貼れちゃう優しい絆創膏

貼っている時に絆創膏の接着面がくっついてしまったり、小さい個包装に手間取ってイライラした経験はありませんか？あるいは、お子さんやご高齢の方が、うまく絆創膏を貼れずに困っている姿を見たことはないでしょうか？そんな悩みを解決するため、指先が不器用な人でも簡単に使える絆創膏プルペタを制作しました。



◆「令和7年度刑務所作業製品開発コンクール」にて最優秀賞を受賞

令和7年度刑務所作業製品開発コンクールは、法務省や矯正協会が主体となって行っている「刑務作業製品」の技術やデザイン・アイデアを競うコンクールとなり、中部矯正管区（富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県内を管轄地域としている機関）の各刑務所から選出された刑務所作業製品42品目の中から、最優秀賞として選定された。

空間作法領域・4年 佐々木涼葉さん 作品名「あいたつく」（積木製品）

◆「建築系愛知16大学共同企画展」で最優秀賞を受賞

「建築系愛知16大学共同企画展」とは愛知県の建築系の学科がある大学が集まり、各校の代表作品を展示する。出展している各大学の学生と教員により、合同講評会が開催され、選定された。

地域建築領域・3年
小森健生さん



◆「TOKYO MIDTOWN AWARD 2025」デザインコンペでグランプリを受賞

「TOKYO MIDTOWN AWARD」は、東京ミッドタウンが“「JAPAN VALUE（新しい日本の価値・感性・才能）」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”をコンセプトに、才能あるデザイナーやアーティストとの出会い、応援、コラボレーションを目指して、デザインとアートの2部門で開催するコンペティション。



情報表現領域・4年
大井はるかさん

作品名 「BRAILLE PARROTTER」

BRAILLE PARROTTER
ブライユ・パロッター

あ
い
う
え
お

点字を利用した新しい楽器のデザイン

この画は、画を点字のルールに従って製作することで、音楽会話を音楽にする。誰もが作曲家になり、それぞれの音楽で音楽をつくる。音によるメッセージを、わたしたちは迅速深く響く。

音楽に障害のある人で、点字を振るべき人は約10%とされている。点字を必要としていても、覚えることの難しい人が多くいる。一方で、点字さえあれば問題ないという考えでデザインされているものは数知れない。視覚で小さな凹凸を読み取ることで、何通りもある音の組み合わせを覚えることの難しさは、なかなか伝わりにくい。

この画はその難しさを、楽しみながら学ぶことができる。点字を使う人も使わない人も、ただ会話を楽しむことで、ただだんたんと点字を覚えていく。この画は、両者の間にある溝を埋めることとなるだろう。

音楽による会話は、意思の疎通が難しくなる。その難しさは、言葉による会話でも感じていたはずのものだ。便利になるとともにありふれたものになってしまった言葉の豊かさを、この画は再確認させる。そしてわたしたちは、意思疎通ができた時の純粋な喜びを体験するのだ。

◆「JIDA Student Selection 2025」にて金賞を受賞

内食を利用する生活者に向け、健康的な食事とターゲットに合わせた情報／広告をセットにして届ける「宅配弁当サービス」を日本の食文化のひとつである「定食」になぞらえたビジネスモデルとビジュアルの提案

空間作法領域・3年 高桑綸華さん



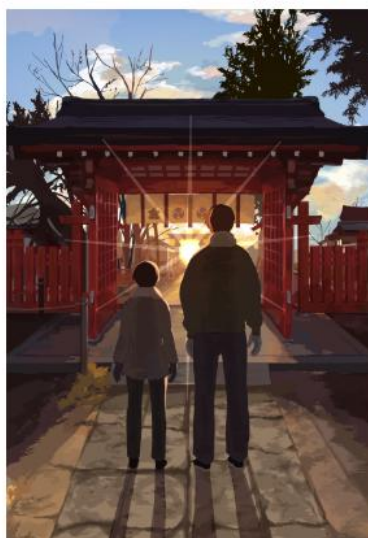
◆上田市日本遺産短編小説書籍化「表紙絵・挿絵イラスト」コンテストにて6名が入選

視覚表現領域1年生選択授業「デザインとイラストレーション」で、上田市日本遺産推進協議会主催の上田市日本遺産短編小説書籍化「表紙絵・挿絵イラスト」コンテストに挑戦し、履修者26名のうち3名が優秀賞、3名が佳作に選定された。

優秀賞



ぬくいしげお



吉田未来



永島咲花

佳作

澁谷美緒さん/ 杉山祥太郎さん/ 後藤総吉郎さん

<連携事業>

◆名古屋造形大学×愛知学院大学×弥富市（MAP 制作）<三者連携事業>

弥富市の魅力を、～手に取って歩けるかたち～に。

名古屋造形大学×愛知学院大学×弥富市の三者連携で、弥富市観光新マップを制作。

本学はデザインを担当し、日本語版の文章は名古屋造形大学・愛知学院大学、英語版の文章は愛知学院大学が担当した。三者での連携事業は、今回が初の試みとなる。

弥富市職員の方々からお話を伺いながら、フィールドワークを共同で実施し、さらに学生自身によるリサーチも重ね、現地で出会った声や視点を内容へ反映していった。

日本語版と英語版で折り方や紙面配置を変え、見やすさにも工夫を施している。



◆愛知県立明和高等学校・附属中学校と、高大連携を締結。

相互の教育に係る交流及び連携を通じて、生徒の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学の求める学生像及び教育内容への理解を深め、かつ高等学校教育・大学教育の活性化を図る。



<教員>

◆2025 グッドデザイン賞受賞

地域建築領域 伊藤維准教授
「岐阜鏡島の住宅」



◆「Poster Stellars 第5回国際ポスターコンペティション 2025」で銅賞を受賞

「Poster Stellars 第5回国際ポスター
コンペティション（アメリカ）2025」にて
2022年に引き続き Political 部門銅賞を受賞。



伊藤 豊嗣 学長

◆「JIA 関西建築家新人賞」を受賞

「JIA 関西建築家新人賞」は、地域特性に
対する配慮や作品の芸術性などの観点から
総合的に判断し、将来性があると期待される
建築家に対して与えられる賞で、隔年で
実施されている。

空間作法領域 新森雄大特任准教授
作品名 「pedestals」



◆「The New Yorker」レビュー記事のアニメーションを制作

制作アニメーションが、「The New Yorker」誌に掲載された記事に使用された。このアニメーション
は、クレア＝ルイズ・ベネットの新刊『Big Kiss, Bye-Bye』のレビュー記事のために制作されたも
のである。

情報表現領域 岩崎宏俊准教授



＜卒業生＞

◆「BAMBOO AWARD 2025」にて SILVER を受賞

BAMBOO MEDIA では、直近1年間に紹介した国内外の空間デザイン作品の中から、最もPV数の多かった作品を毎年〈BAMBOO AWARD〉として表彰している。

名古屋造形芸術短期大学 スペース&クラフトデザインコース 秦 秀彰（個人事務所）さん
作品名 「アツミクレープ」



＜メディア掲載＞

◆美術表現領域の学生4名による展示「f u you」について

ギャラリー「みかんハウス」で行われた、美術表現領域の学生4名による展示『fu you』展の様子が掲載されました。（中日新聞掲載）

名古屋造形大生4人
プロへ踏み出す27点
北区、学外で初の展示
名古屋造形大（北区）で美術を学ぶ学生4人によるグループ展が、北区清水のギャラリー「みかんハウス」で開かれている。学外では初の展示といい、美術家を目指して一歩を踏み出した。29日まで、入場無料。

出展者は、いずれも美術表現領域3年生の平本礼芽さん、中村寧々さん、内藤蒼さん、蟹江幸称さん。授業や日ごろの制作活動の中で手がけた絵画や立体などを合わせて27点を並べた。

網戸に使われる無機質な網を帯状にし、窓を覆った作品は平本さんによる「模様の様」。一見シンプルだが、窓に差し込む光により、柔らかい布のような質感を引き出している。

中村さんは「ルッキズム」という言葉への違和感から描いた人物画を出展。「展示は、自分たちにとってはスタートで、大きな挑戦だった。それぞれの表現に共

通している思いが伝わった。うれしい」と話した。



網戸に使われる網を帯状にした作品を展示している平本さん（左）と中村さん（右）が、北区清水の「みかんハウス」で

2026年4月24日 中日新聞 日刊17面
許諾番号：20260501-33705

◆名古屋市北文化小劇場 25 周年記念 CM 動画制作について

情報表現領域外山スタジオの学生が取組んだ連携事業「名古屋市北文化小劇場 25 周年記念 CM 動画制作の様子」が掲載されました。(中日新聞掲載)

名古屋造形大生が3本制作

北文化小劇場は昨年7月に開館25周年を迎え、より多くの人に興味を持ってもらうべく、大学側に映像制作を依頼。情報表現領域の外山眞彦教授に学ぶ当時2・1・3年生の学生10人が、約1年かけて完成させた。

学生は0歳から参加できるコンサートやサイエンスショー、区が手がけるジャズイベントなど4公演取材し、約6分半の動画1本と、約30秒のショート版2本にまとめた。花道や昇席を備えるホールの特徴にも触れ、若男女でにぎわう様子を伝えている。

編集を手がけた4年の高月穂さん(17)は「地域に根付いた施設であることを踏まえ、出演者と来場者との距離の近さが伝わるようにした。足を運ぶ人が増えてくれたらうれしい」と期待する。

動画は、市文化振興事業団の公式YouTubeチャンネルで配信。劇場と北区役所の電子看板、交流サイト(SNS)での広報にも活用する。

北文化小劇場 25周年CM

名古屋造形大生が3本制作

北文化小劇場は昨年7月に開館25周年を迎え、より多くの人に興味を持ってもらうべく、大学側に映像制作を依頼。情報表現領域の外山眞彦教授に学ぶ当時2・1・3年生の学生10人が、約1年かけて完成させた。

学生は0歳から参加できるコンサートやサイエンスショー、区が手がけるジャズイベントなど4公演取材し、約6分半の動画1本と、約30秒のショート版2本にまとめた。花道や昇席を備えるホールの特徴にも触れ、若男女でにぎわう様子を伝えている。

編集を手がけた4年の高月穂さん(17)は「地域に根付いた施設であることを踏まえ、出演者と来場者との距離の近さが伝わるようにした。足を運ぶ人が増えてくれたらうれしい」と期待する。

動画は、市文化振興事業団の公式YouTubeチャンネルで配信。劇場と北区役所の電子看板、交流サイト(SNS)での広報にも活用する。

※この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

◆東郷高校美術コースとの高大連携授業について

東郷高校の生徒と高大連携授業として富士浅間神社の天井画をつくっていくものとなっており、富士山や境内に咲く花々などを描いた日本画のパネル約100枚を組み合わせ巨大な1枚の天井画に仕上げていきます。天井画の説明や、東郷高校の生徒さんの意気込みなどが掲載されています。(中日新聞掲載)

天井画の絵師は東郷高生

東郷高校美術コースの生徒たちが、同校に隣接する富士浅間神社の天井画を修復する。巨大な1枚の天井画に仕上げ、境内にははばら完成する。100枚を組み合わせ、巨大な1枚の天井画に仕上げる。年内にははばら完成する。100枚を組み合わせ、巨大な1枚の天井画に仕上げる。年内にははばら完成する。

隣接の神社が依頼、年内完成見込み

東郷高校美術コースの生徒たちが、同校に隣接する富士浅間神社の天井画を修復する。巨大な1枚の天井画に仕上げ、境内にははばら完成する。100枚を組み合わせ、巨大な1枚の天井画に仕上げる。年内にははばら完成する。

富士山や花々描いた100枚「100年残るように」

3年次野添さん(17)は「なかなかで経験しやない。制作が楽しく、自分の作品が完成するのを想像して、大変な作業を見ても、同校で2年指導してきた加藤先生(加藤先生)の指導で、富士山を手がける田内公雄さん(田内)は「授業では使えない高い高い絵巻の風や筆を用意して、生徒(生徒)にでも非難に耐えられるように目を通す」。

パネルは約50枚、約100枚の富士山や花々を描いた日本画のパネル約100枚を組み合わせ巨大な1枚の天井画に仕上げていきます。天井画の説明や、東郷高校の生徒さんの意気込みなどが掲載されています。

◆美術表現領域の学生によるグループ展示「エリジョン」について

美術表現領域の学生4名による展示「エリジョン」展の様子が掲載されました。(中日新聞掲載)



◆メーテレ 超町人! チョコレートサムネット (0205年11月9日(日)放送 毎週日曜日 16:25~)

本学 江津 匡士(ごうづ ただし)教授の取材の様子が放送されました。



◆メーテレ ドデスカ! (2026年1月20日(火)放送)

関西ジュニアAmbitiousの「学校おじゃまシャス!」にて本学が紹介されました。

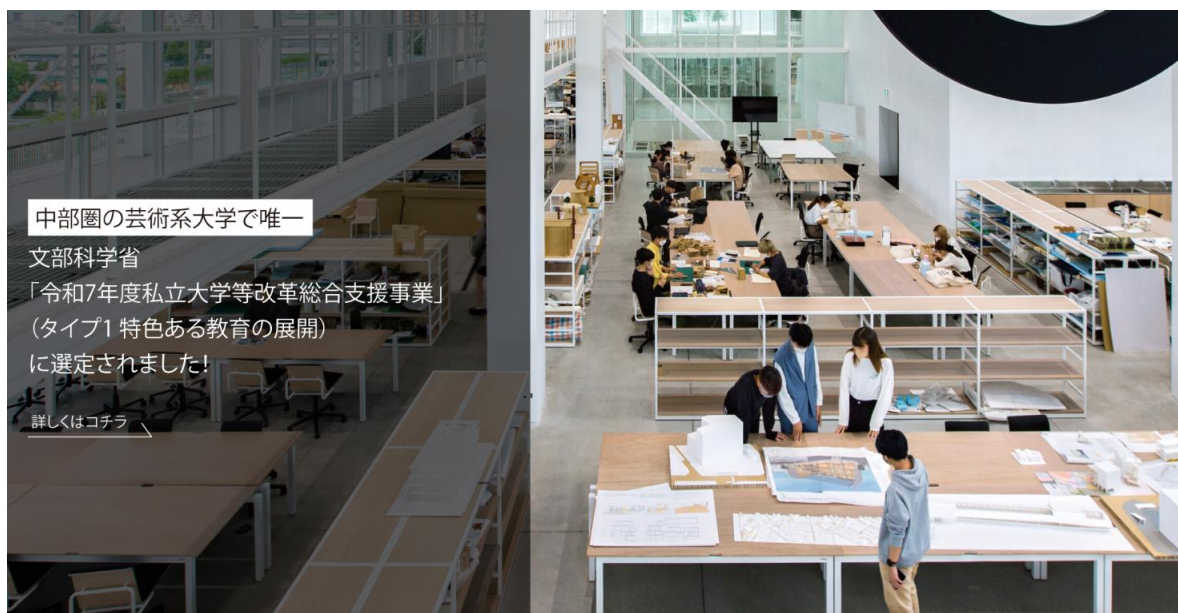
◆ヤフーニュースにて「遠い空のアレポ」が掲載されました。(2025年7月23日)

夏休み特別企画展として、開催された平和を考える展覧会。
2026年に公開予定のアニメーション映画[ドゥーニヤとアレポのお姫様]をきっかけにシリアの文化や歴史、そして難民となった少女の旅路を造形大生たちが独自に調査・解釈し、わかりやすく表現し、戦争や難民といった重いテーマを、子どもにも大人にも届くかたちで伝えることを目指した展示です。
戦場カメラマン・渡部陽一さんの特別講演も開催しました。



<その他>

◆文部科学省「令和7年度私立大学等改革総合支援事業」（タイプ1 特色ある教育の展開）に選定されました。



文部科学省「私立大学等改革総合支援事業（タイプ1）」に選定
— 中部圏の芸術系大学で唯一、本学が選定 —

この度、文部科学省が実施する「令和7年度 私立大学等改革総合支援事業 タイプ1」に名古屋造形大学が選定されました。

芸術系大学としては、中部地区においてタイプ1で唯一の選定となり、教育の質保証体制、内部質保証システム、教学マネジメントの実効性等が総合的に評価される区分であり、専門的な芸術教育に加え、学生の学びを支える教育体制や質保証の仕組みが高く評価された点は、本学の大きな強みです。

今後も名古屋造形大学は、芸術の力を通じて社会に新たな視点と可能性を提示し、地域とともに未来を創造する大学として、さらなる飛躍を目指します。

